

資料3-2 学術研究船

最近の20年間に達成された、もしくは継続中の海洋研究の多くが、学術研究船白鳳丸（第2代）や淡青丸（第2代）を用いて実施され、もしくは実施されつつある。第2代白鳳丸は1989年5月1日に、また第2代淡青丸は1982年10月15日に竣工され、今日まで休むことなく海洋研究に活躍してきた。2004年の大学法人化に伴い、これら2船は、いずれも所属が東京大学から海洋研究開発機構に移行されたが、全国共同利用システムはその後も堅持されており、我が国のボトムアップ海洋研究の中核を担い続けていることに変わりはない。これらの学術研究船の詳細説明については、『東京大学海洋研究所30年史』に書き尽くされているので、ここでは、両船の主要目と一般配置図を再録するとともに、ただし一般配置図は『30年史』に比べてサイズを大きくして見やすくした。

第2代淡青丸の主要目

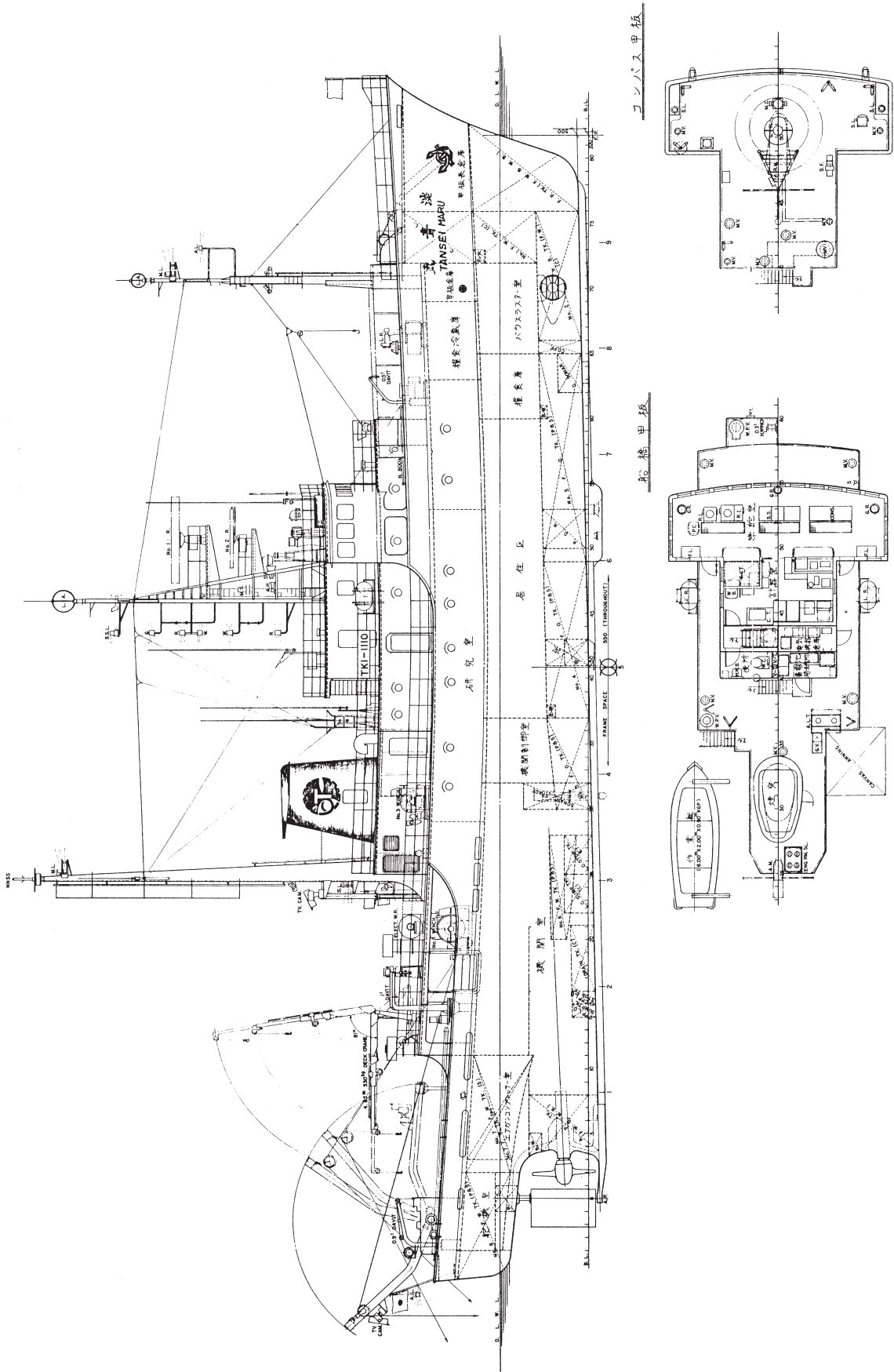
| | |
|------------|-----------------------------|
| 全長 | 51.00m |
| 垂線間長 | 45.00m |
| 幅(型) | 9.20m |
| 深さ(型) | 4.20m |
| 計画満載喫水 | 3.70m |
| 夏期満載喫水 | 4.309m |
| 総トン数 | 469.84トン |
| 純トン数 | 125.24トン |
| 試運転最大速度 | 14.61ノット |
| 航海速度 | 12.00ノット |
| 航続距離 | 6,200海里 |
| 主機関(ディーゼル) | 750PS×2基(1軸) |
| 推進機 | 4翼可変ピッチ 1軸 |
| 主発電機 | 300KVA(240kW)(60Hz, 230V)×1 |
| パウスラスタ | ×1 4翼可変ピッチ |
| タンク容積 | |
| 清水 | 119.00m ³ |
| バラスト水 | 16.7m ³ |
| 燃料油 | 162.2m ³ |
| 潤滑油 | 8.3m ³ |
| 乗組員定員 | 27人(予備員4人を含む) |
| 研究員定員 | 11人 |

| | |
|-------|-------------|
| 起工年月日 | 1982年 2月 1日 |
| 進水年月日 | 1982年 7月 9日 |
| 竣工年月日 | 1982年10月15日 |

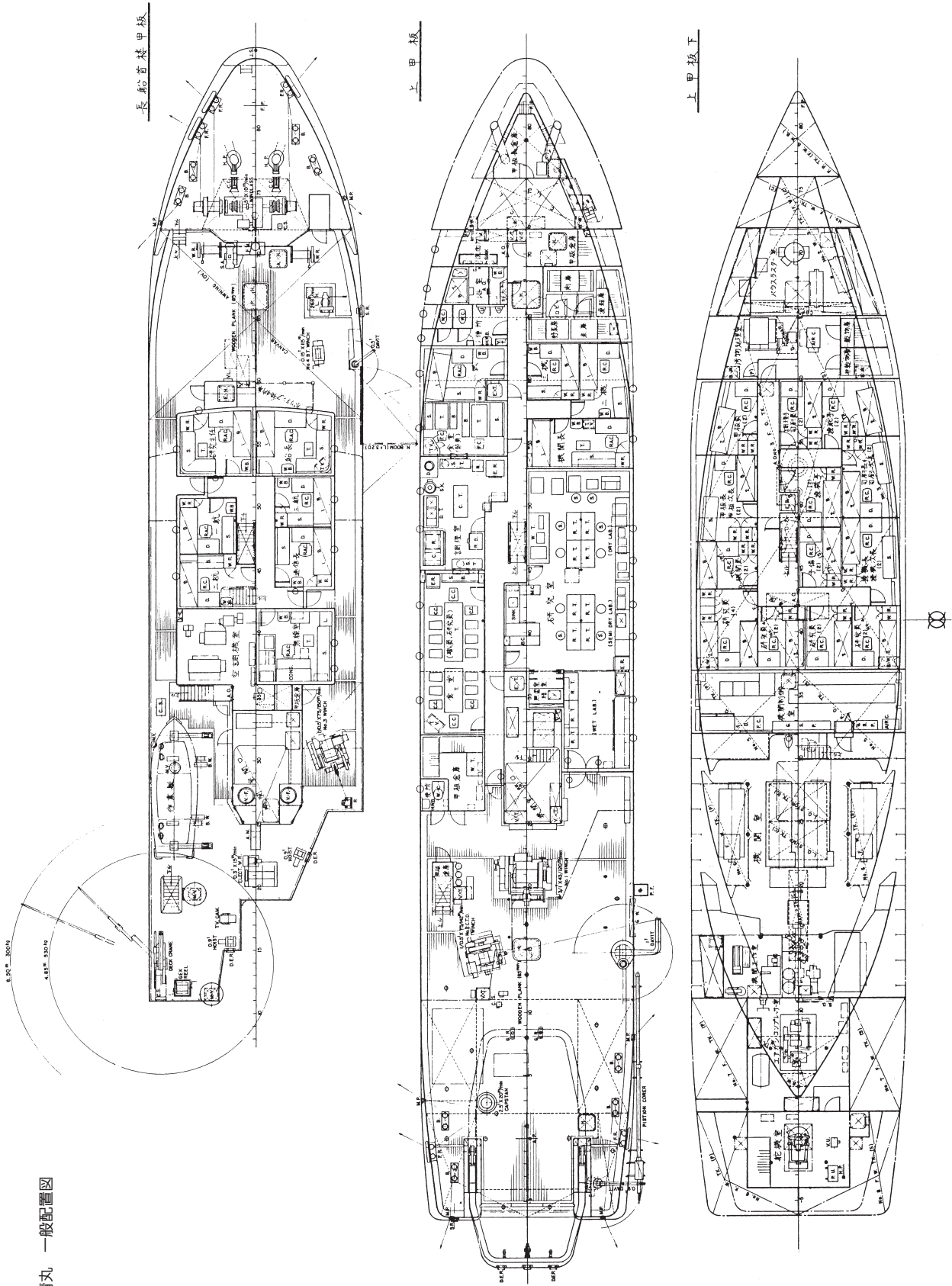
第2代白鳳丸の主要目

| | |
|---------|---------------|
| 全長 | 100.00m |
| 垂線間長 | 90.00m |
| 幅(型) | 16.20m |
| 深さ(型) | 8.90m |
| 総トン数 | 3,987トン |
| 推進方式 | ディーゼル推進及び電気推進 |
| 原動機 | 1,900ps×4台 |
| 推進用電動機 | 1,085kw×2台 |
| プロペラ・舵 | 2軸・2舵 |
| 主発電機 | 715KVA×3台 |
| パウスラスタ | 4.2T×2台 |
| スタンスラスタ | 6.8T×1台 |
| 航海速度 | 16.0kn |
| 乗船人員 | 89名(内研究者35名) |
| 起工 | 1988年 5月 9日 |
| 進水 | 1988年10月28日 |
| 竣工 | 1989年 5月 1日 |

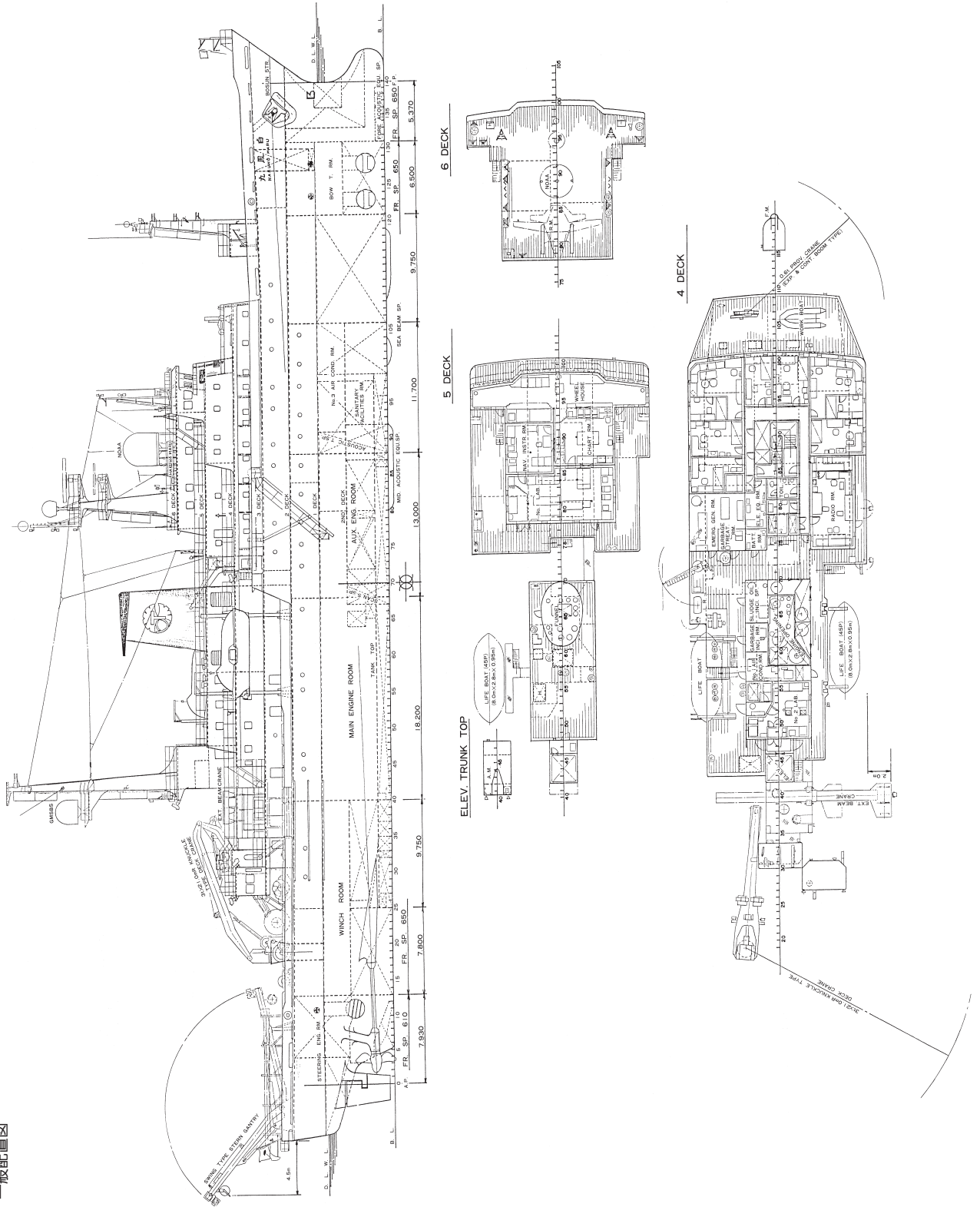
淡青丸 一般配置図



淡青丸 一般配置図



白鳳丸 一般配置図



白鳳丸 一般配置図

